

さわやかタイム情報

十島村教育委員会
〒892-0822 鹿児島市泉町13番13号
TEL 099-227-9771

南北160km 「心をつなぎ気概に満ちた」十島の教育

6月…小中学校の連合交流学習

十島村教育長 有村 孝一

今月は、小中学校の交流学習を実施しました。中学生28人は、6月3日から6日までの3泊4日の行程で行いました。午後8時に鹿児島港に入港した生徒たちは、宿泊先の「ゆすいん」に向かい、結団式の後、遅い夕食をとり、翌日に控えた伊集院北中との交流に備えました。



翌日は快晴の中、交流が始まりました。体育館で相互の紹介がなされました。日頃、少ない人数で学習しているので、309人の生徒の前で発表するのは、いささかやりにくいのではないかと思

っていましたが、物おじすることなく堂々と紹介をすることができました。聞いていた伊集院北中の生徒たちは、初めて知る事がたくさんあったのでしょう、驚きながらも深くうなずきながら聞いていました。発表もとても工夫を凝らしていました。

その後、各クラスに分かれて授業を受け、最後は体育の授業で、かねてできにくいチームゲームを楽しみました。その日の夜は、レクリエーションで大いに盛り上がりました。

最終日は、鹿児島城西高校と樟南高校見学でした。大変丁寧な対応をしていただき、生徒たちも初めて知る学科や部活動に驚いている様子でした。様々な体験をして、翌日それぞれの島に無事帰り着きました。



今回の交流学習の様子を見て、子どもたちの成長を強く感じました。これからも行事のたび毎に成長することを楽しみにしています。

6月17日から20日までは、小学生5・6年生23人による交流学習を実施しました。あいにくの雨の中、子どもたちは元気よく下船してきました。翌日は、八幡小学校での交流会でした。



体育館には大きな歓迎の文字が入った横断幕が張られ、子どもたちは大変うれしそうでした。歓迎会では、各学校の紹介を堂々とする事ができました。八幡小の子どもたちは、紹介の内容を楽

しように聞いたり、初めて知ることに驚いたりしている様子でした。

また、それぞれの学年の教室に入って授業の体験をしましたが、初めての大人数に大変びっくりして、緊張したという感想を話してくれました。次の日は、NHK鹿児島放送局と水族館の見学でした。NHK鹿児島放送局では、実際に昼の番組で使うスタジオで番組制作に挑戦しました。アナウンサーやADの係をしながら、完成したときには大喜びをしていました。水族館では、イルカショーやバックグラウンドまで見せていただき、大喜びでした。みんな満足げに感想を述べていました。交流の様子を見て、子どもたちの成長を強く感じながら、今後の成長が楽しみになりました。



もうすぐ夏休み

今年もあと1か月もしないうちに、夏休みがやってきます。楽しくてわくわくしてくるでしょう。でも、こんな時にケガや事故が起きやすくなります。また、今



は梅雨で地面は一杯水分を含んでいます。危ない所はないか、自分の身の回りをもう一度点検しましょう。

そして、暑い夏、海や川、プールに入りたくくなります。安全な夏休みにするために、次のことを守りましょう。

- ア 絶対に、一人で泳ぎに行かない。
- イ 大雨の時、また直後、川や側溝に近づかない。
- ウ 急に水に飛び込まない。
- エ 水に入る前に、体操をして体をほぐす。
- オ 体の具合がよくないときは、水の中に入らない。
- カ 海では、沖に向かって泳がない。
- キ 水泳禁止区域では泳がない。

十島村の子どもたちは、夏休みに周りの海はもちろん島外で泳ぐ機会も多いでしょう。十分気をつけて、楽しい夏休みにしましょう。

また、周りの大人は、子どもたちの行動に目配りや気配りをして、危険箇所点検等、安全の確保に努めていただければ幸いです。

今年のスローガン

「水に親しみながら3M運動

みんなで めざそう 水の事故ゼロ」

輝

シリーズ—南日本新聞「ひろば」投稿
「教師の道を選んでよかった」
口之島中学校 教諭 岡本 真人

年度が変わる3月から4月は、進学や就職、転勤などで別れと出会いが繰り返される。私自身も例外ではなく、今回の異動で十島村の口之島に転勤した。住み慣れた地から小さな離島への転勤、しかも3人の幼児も同伴ということで期待以上に不安が大きかった。

出発当日の鹿児島港には、夜遅い時間にもかかわらず、たくさんの教え子や保護者、同僚が見送りに来てくれた。集まった方々の顔を見ていると、前任校での7年の日々が鮮明に思い出される。こみ上げる思いや感謝の気持ちは、あふれ出す涙となり、出航するとお互いが見えなくなるまで手を振り続けた。



その数時間後、早朝の口之島の港には島民の皆さんが大勢集まっていた。盛大な金管バンド演奏での出迎え、子どもたちからの温かい歓迎の言葉に感謝し、それまでの不安な気持ちは消え去った。そして、この子どもたちのために頑張ろうという思いが沸き上がってきた。

新任校は児童生徒数11人の本当に小さな学校であるが、教育の原点がここにあると日々実感している。別れと出会いは自分自身を大きく成長させてくれる。教師という道を選んで、本当によかったと改めて感じている。

灯

シリーズ—島で暮らす
十島村の学校で生活して
諏訪之瀬島分校中学校2年
山木 力羅

僕は、小学校6年生の時、鹿児島島の小学校に通っていましたが、この分校に通うことになったきっかけは、父が諏訪之瀬島に住んでいたことと大自然に触れることができ島が好きになれそうだったことの2点でした。青く澄んだ海と空、緑に囲まれた静かな環境の中で友だちと遊んだり、学校で授業を受けたりすることが、とてもうれしかったです。



また島の人たちはみんな優しく、時には厳しくいろいろなことを教えてくれます。僕は、そのことに感謝し、他の人に優しくできる人になりたいと思います。勉強も頑張って、夢を実現させていきたいです。

交流学習で薬物乱用教室

6月5日(金)の午後、中学校の交流学習の一環で「薬物乱用防止教室」が行われました。県薬剤師会館に集まった28名の中学生たちは、薬剤師から専門的な説明を受けながら薬物乱用の怖さを学びました。まず、薬物乱用とはどんなことかを学びました。

薬物乱用とは、「お医者さんや薬剤師さんの指示を守らずに、勝手に薬を飲んだり、医療目的でない例えばシンナーなどを吸ったりすること。未成年の人が、タバコを吸ったりお酒を飲んだりすること。」と教えられました。シンナーや麻薬、覚醒剤、危険ドラッグなど薬物等の種類も教えてもらいました。



一番大切なことは、これらの薬物等により精神や身体にどんな影響がでるかということ。脳や視力だけでなく心臓や肺、胃、骨髄など人間の体の重要な器官に重大な悪影響を及ぼすことがわかったようです。中学校を卒業して大きな社会に出た時、薬物乱用の誘惑に負けない知識を、今後も学び続けてほしいです。

十島村の小・中学校からのメッセージ

平島小学校 教諭 中馬 芳樹

朝、起きて窓を開けた時、子どもたちと一緒に学校へ行く時、休み時間や放課後に窓の外を眺めた時、この時が私が一番好きな時間です。波の音を聞いて風を感じ、たくさんの鳥の鳴き声が聞こえてきます。頭の中を空にしてぼうーとするこの時間が、私は一番好きです。平島に来て1年が過ぎました。去年は、たくさんの鳥の鳴き声を聞くだけで感動していましたが、今年は森や道端にいる鳥の姿を見つけられるようになりました。また、日々違った発見があります。

学校生活の中でも楽しみなことが2つあります。一つ目は、毎日の給食がとてもおいしいことです。特に、できたてのパンを食べられるのは幸せです。おいしい給食を食べると自然にみんなが笑顔になります。二つ目は、毎月巡回してくるセブンアイランドや県立図書館の本です。魅力ある本が多く、書名を見るだけでわくわくします。なかなか読めないのが現状ですが、忙しい時や心に余裕がない時ほど、短い時間でも読むようにしています。

初めての小・中学校併設校ですが、給食時間に小学生と中学生が並んで仲良く食べたり、昼休みに一緒に遊んだりする姿を見るとほほえましく思います。

また、中間テストに向けて必死に勉強したり学校行事の準備や片付けを率先して働いている姿を見ると、小学生も学ぶことが多く、小・中学校併設の良さを実感しています。

「教職員仲間であるあなた」への私からのメッセージ

今、この落ち着いた環境の中で、どっしりと腰を据えて、子どもたち一人一人と向き合えることに幸せを感じています。これからも、この子どもたちと共に成長していきたいです。